



実施状況（郡山市・1日目）

県のふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業として実施する「商店ガイレンジャーキッズ事業」のワークショップが郡山市でスタートしました。

平成28年6月26日（日）10:00～16:00
郡山市 KIK'B Chocotto、Caffe W23 ほか

〔開講式〕

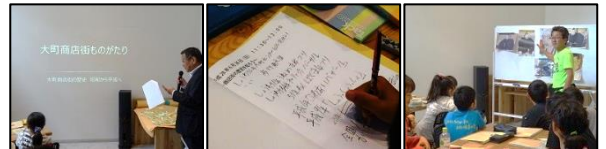
NPO 法人まごっせ KORIYAMA の宮川雄次理事長と福島県商業まちづくり課の佐藤淳課長があいさつし、スタッフ等を紹介した後、記念撮影を行いました。



〔ワークショップ〕

～商店街って？～

小学生が商店街のイメージ等をふせんに記入し、模造紙に貼り付けて発表しました。「商店街は人が集まって楽しいところ」、「車通りが多い」、「何のためにあるのか分からない」など多くの意見が出されました。



～商店街の歴史を知ろう～

郡山市大町商店街振興組合の初瀬照夫理事長からは、大町商店街のイベント等を中心とした歴史を学び、郡山市中央商店街振興組合の齋藤淳宏理事長からは、戦国時代以降の歴史と関連付けてまちづくりや商売について学びました。



～商店街を知ろう（まち歩き）～

まち歩きでは、中央商店街のなかまち夢通り、和久屋（民芸品）、つたや（酒）、大町商店街の菊屋茶舗（茶）などを見学しました。



～商店街はモノを売るだけの場所じゃない～

郡山市商店街きらめき21研究会の伊藤基文会長から、商店街の役割について説明を受けた後、映画「商店ガイレンジャー」を鑑賞しました。

～ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業について～



この事業は、ふるさとの商店街に賑わいを取り戻すため、地域の子ども達が商店街について楽しみながら学び、考え、アイデアを実現することにより「商店街の活性化」と「子ども達のふるさとへの愛着心（まちづくりへの参画の第一歩）の醸成」を図るもので、平成28年度は会津若松市、郡山市、田村市の3地域で実施しています。ワークショップで子ども達が考えたアイデアを、子ども達が中心となって実現します。

※ 全国の皆様からいただいた寄付金を財源とする「福島県東日本大震災子ども支援基金」を活用しています。

商店街プロデュース事業

検索